

令和4年度事業報告

1 事業の重点

令和4年度は、第11次大分県交通安全計画（令和3年度～令和7年度）の2年目にあたり、同計画に沿って交通事故のない社会をめざし、人命尊重を基本理念として、県民一人ひとりに交通安全知識を普及し、交通安全思想の高揚を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけることにより、年間交通事故死者数過去最少（35人以下）を目指すとともに、令和7年度までに継続して年間死者数を34人以下、交通事故重傷者数220人以下を達成するための交通安全活動を推進した。

令和4年度は、活動の重点を基に、現在の社会情勢や活動の継続性を勘案し

- ① 子供の交通事故防止
- ② 高齢者の交通事故防止
- ③ 交通安全のすそを広げる県民運動の推進

の3点を重点活動に掲げ、交通事故のない、安全で安心して暮らせる「優しいマナーと思いやりの運転県おおいた」の実現を目指し事業を推進した。

昨年度は、令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症第6波・第7波・第8波の影響を受け、街頭活動の実施や各種イベント等の開催が縮小あるいは中止される中で、各地域の実情に応じた最大限の交通安全教育活動や広報啓発活動を展開し、昨年度の活動実績を上回ることができた。

2 重点活動に対する施策

(1) 子供の交通事故防止

ア 幼児に対する交通安全教育

幼稚園・保育園に交通指導員を派遣し、腹話術の他、体験・参加型の交通安全教室（自転車教室を含む）を519回、23,383人に対して実施した。

イ 児童等に対する交通安全教育

新入学児童を対象とした登下校時の交通安全指導、及び小・中学校や地区公民館に交通指導員を派遣し、体験・参加型の交通安全教室（自転

車教室を含む)を延べ474回、26,219人に対して実施した。(小学生439回、22,203人、中学生20回1,821人、高校生15回2,195人)

ウ 自転車シミュレータを活用した交通安全教育

学校や地域の行事等に交通指導員を派遣し、自転車シミュレータを活用した体験型の交通安全教室を27回、3,661人に対して実施した。

エ 交通安全子供自転車大分県大会の開催及び全国大会の中止

令和4年6月18日(土)大分東部公民館において、大分県大会を開催し5校6チームが参加した。(優勝チーム:竹田市立豊岡小学校)

なお、同年8月10日に開催予定であった全国大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

オ 幼児・児童向けの広報チラシ等の発行

幼児・児童向けの広報紙を各支部において毎月、又は随時発行した。

カ 交通安全啓発グッズの配布

新入学児童に対し交通安全グッズ(交通安全さるーる自由帳、さるーるクリアファイル)9,055セット及び各支部独自で選定した物品を配布した。

キ 交通安全レター作戦

日田支部は、日田市内の18小学校4~6年生、1,677名にハガキを配布し、家族や近親者など身近な人に、交通安全を願う気持ちを書いたハガキを送り、交通安全意識の高揚を図る「交通安全レター作戦」を実施した。

ク 横断旗の配布

本年3月9日、こくみん共済coop(全労済)が、交通事故に巻き込まれる児童を減らす運動「7歳の交通安全プロジェクト」として4,700本の横断旗を当協会に寄贈されたことから、小学校数の割合に応じて各支部に配分し、支部を通じて交通ボランティアや学校等に配布して通学児童等の交通安全活動に役立てた。

ケ 道路危険箇所等の点検

交通安全施設の点検・補修作業・危険箇所の調査点検を実施した。

○ 大分中央支部 明野東分会 (R4.9.21~9.30)

○ 大分南支部 賀来分会 (R4.4.8、R4.7.18、R4.9.28)、挾間分会・吉野分会 (R4.7.17)

※ 子供の交通事故発生状況（R4年1月～R4年12月）

	件数	死者数	負傷者数	(内) 重傷者
令和4年	172	0	197	14
令和3年	151	0	167	17
増減	+21	0	+30	-3

(2) 高齢者の交通事故防止

ア 高齢者交通安全教室の実施

各支部において、高齢歩行者を対象とした体験・参加型の交通安全教室（自転車教室を含む）を19回、298人を対象に実施した。特に国東支部は、サロン集会で脳トレやクイズなどを交え、職員がピアノを演奏し演歌や歌謡曲と一緒に歌うなど楽しく交通安全教室を行った。

イ 歩行シミュレータを活用した交通安全教育

運転免許センターにおいて、認知機能検査及び高齢者講習を受講した者等を対象に、歩行シミュレータによる体験型交通安全教育を173回、8,515人に対して実施した。（令和4年5月～本年2月）

ウ ドライバーズセミナー（シニアコース大分）の開催（後援）

令和4年5月22日(日)、大分県自動車学校において、JAF大分支部と連携して高齢者を対象とした体験型講習会を開催し、5名が受講した。

エ 交通安全グラウンドゴルフ大会の開催

交通安全意識の高揚を図るため、各支部において交通安全グラウンドゴルフ大会を開催又は協賛した。

- 大分中央支部（R4.7.19／30人、R4.9.27／40人、R4.12.7／40人）
- 豊後大野支部新田分会（R4.7.17／60人）、清川分会（R4.12.11／100人）
- 中津支部耶馬溪連合分会（R4.9.22／35人）
- 佐伯支部中央分会（R4.9.30／12人）

オ 独居老人宅訪問活動

大分南支部は、令和4年12月11日吉野分会一円に居住する独居老人宅を訪問し交通安全の呼びかけを行った。

カ 老人クラブ交通安全教室

宇佐支部は、令和4年12月7日津房老人クラブにおいて、防犯と交通安全の歌を歌いながら腹話術人形と安全教室を行った。

キ 道路標識・カーブミラー等の清掃活動、立看板補修設置作業

- 大分東支部 (R4. 7. 15～7. 21)
- 杵築日出支部 山香上地域一円 (R4. 12. 11) 、大田地域一円 (R4. 12. 4)

※ 高齢者の交通事故発生状況 (R4年1月～R4年12月)

	件数	死者数	負傷者数	(内) 重傷者
令和4年	913	21	480	105
令和3年	982	21	576	118
増減	-69	0	-96	-13

(3) 交通安全のすそのを広げる県民運動の推進

令和4年度大分県交通安全県民運動実施要綱に掲げる運動の推進事項、「死亡事故等重大事故の更なる抑止」、「高齢者と子供の交通事故防止」「飲酒運転の根絶～飲んだらのれん～」等を広く県民に呼びかけるための活動を実施した。

ア 街頭広報

県民の交通安全意識の高揚を図るため、県民交通安全日や春・夏・秋・冬の交通安全運動中に主要交差点等街頭において広報啓発活動を実施。

杵築日出支部は、令和4年9月28日、地場企業であるサンリオハーモニーランドのキャラクター「ハローキティ」と国道を走行する運転手に交通安全を呼びかけた。

イ 広報車による広報

県民交通安全日、春・夏・秋・冬の交通安全運動中、交通非常事態宣言発令中など、各支部広報車による広報啓発活動を適宜実施した。

ウ マスメディア、ホームページ等を活用した広報

(ア) 県協会

新聞、テレビ、ラジオ、ホームページ等を活用し、適宜、時節に応じた広報を実施した。

○ 新聞広報

春・夏・秋・冬の交通安全運動の啓発広告、大分合同新聞「交通標識クイズ」・「飲酒運転根絶」・「キャラクター図鑑」を企画した広告に協賛し、交通事故防止啓発広報を実施した。

○ テレビ広報

OBS、TOS、OABの各テレビスポットCMを活用し、夏・秋・冬の各交通安全運動期間中に集中して、交通事故防止を呼びかける広報を実施した。

○ ラジオ広報

令和4年4月から本年3月まで、毎週金曜日にFM大分「喫茶店Tomocafe」（11:30～11:55）とスポンサー契約し、「大分県交通安全協会の活動篇・6秒の深呼吸篇・彼はスマート篇」の3タイプをCMし、併せて付帯サービスで交通安全協会職員が出演する「交通安全トーク」により、交通事故防止を呼びかける広報を実施した。（FMラジオ7回職員出演）

○ ホームページ等

四季の交通安全運動及び交通事故発生状況、各種行事等のお知らせや各支部の活動状況をアピールした。

(イ) 各支部

地域の実情に応じた広報を実施するため、地域新聞（別府支部）、電光表示機（大分中央・玖珠支部）、ケーブルテレビ（別府・国東・日田支部）、商業施設店内放送（大分中央支部）、振興局防災無線・FMラジオ（佐伯支部）をそれぞれ活用した。

エ その他県協会の広報活動

(ア) 県協会広報紙「交通安全おおいた」発行

4月（春）、7月（夏）、9月（秋）の交通安全運動前及び1月（新年）に各11,500部制作・発行し、運動の重点等を広報した。

(イ) 交通安全運動チラシ作成・配布

大分県交通安全推進協議会と共同で、春・夏・秋・冬の交通安全運動用チラシ各35,000枚を作成し、関係機関・団体等に配布して街頭活動等において活用した。

(ウ) 交通安全啓発ポケットティッシュ、反射材等配布

運転免許センターにおいて、各種講習・認知機能検査等を行った高齢者等を対象にした体験型交通安全教育（歩行シミュレータ）の受講者に対して、横断歩道を渡る際の交通安全を呼びかける台紙を入れたポケットティッシュや反射材等を受講後に配布し、重ねて歩行中における交通事故防止の意識向上を図った。

オ その他各支部の広報活動

(ア) のぼり旗、横断幕等の設置

各支部は、県民交通安全日、春・夏・秋・冬の交通安全運動期間中及び交通非常事態宣言発令期間中、主要交差点等の要所に横断幕やのぼり旗を設置して交通事故防止の啓発活動を行った。

(イ) 第44回おおいた交通安全フェアへの参加

大分中央、大分東、大分南の3支部は、令和4年9月23日（金）大分市府内町の祝祭の広場において、参加体験型の各種展示やイベント・アトラクション等を通じて、市民に身近に交通安全の普及・啓発を呼びかけた。

(ウ) 飲酒運転根絶フェアへの参加

大分中央支部は、令和4年12月9日（金）大分市中央町竹町ドーム広場において、飲酒運転根絶に向けた気運を一層向上させるため県が主催する飲酒運転根絶フェアに参加して街頭啓発等を実施した。

カ 交通安全DVD、ビデオの貸出

県協会は、県民や企業に対し、交通安全DVD・ビデオを無償で貸出した。（9箇所19本）

キ 後援・協賛事業

- J A 共済による交通安全ポスター募集事業の後援
- OBS 大分放送による「OBS ハッピーキッズキャンペーン」の後援

- 一般社団法人日本自動車連盟（J A F）による「ドライバーズセミナー・シニアコース大分」の後援
- 大分県二輪車普及安全協会による「グッドライダーミーティング大分」の後援
- 大分県二輪車安全運転指導員会による「二輪車安全運転講習会」の後援
- 大分県警察による「県警ふれあいコンサート」の協賛
- 大分県安全運転管理協議会「豊の国セーフティーチャレンジ2023」の協賛
- 大分市による「大分市交通安全フェア」の協賛
- 大分県交通安全推進協議会「大分県交通安全ポスターコンクール」の協賛
- 大分合同新聞社企画「春の全国交通安全運動」・「夏の事故ゼロ運動」・「冬の事故ゼロ運動」・「交通標識クイズ」・「飲酒運転根絶キャンペーン」・「おおいたキャラクター図鑑」の協賛

※ 飲酒による交通事故の発生状況（R4年1月～R4年12月）

	件 数	死 者 数	負 傷 者 数	(内) 重 傷 者
令和4年	22	4	26	2
令和3年	24	4	28	6
増 減	-2	0	-2	-4

※ 死亡事故シートベルトの着用状況（R4年1月～R4年12月）

	全死者	四 輪 乗車中	シートベルト着用の有無					
			着 用		非着用		不 明	
			死者	構成率	死者	構成率	死者	構成率
令和4年	32	15	8	53.3%	7	46.7%	0	0.0%
令和3年	36	13	6	46.2%	7	53.8%	0	0.0%
増 減	-4	+2	+2		0		0	

(4) その他の活動

ア 交通安全功労者、優良運転者等の表彰

交通安全活動に従事するボランティアや無事故・無違反を続ける運転者に対し、優良運転者10年・15年・20年・30年・40年・50年表彰や交通安全功労者等表彰を実施。また、九州管区交通安全協会会長表彰、緑十字銅章表彰を上申し、受賞者に伝達。

※ 交通安全功労者・優良運転者表彰式における表彰（R4年9月5日）

	交通安全功労者	功労団体 優良団体	優良運転者				優良職員等	優良学校 安管等
			20年	30年	40年	50年		
大分県連名表彰	20人	3団体	41人	72人	74人	38人		1校
九州管区表彰	7人	1団体	35人				3人	1校・1事業所・1人
全国表彰（緑十字銅章）	9人		103人					

※ 交通安全国民運動中央大会

本年1月18日、東京都において交通安全国民運動中央大会が開催され、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席のもと表彰式が行われた。

- 交通栄誉章緑十字金章2人、緑十字銀章6人、優良事業所1事業所、優良安全運転管理者協議会1協議会が受賞した。
- 交通安全優良団体等表彰では優良交通安全協会として、九州ブロックから公益財団法人大分県交通安全協会が受賞した。

イ 自転車の安全利用の推進

(ア) 自転車利用者に対する安全教育

幼児、小・中・高校、高齢者及び一般者に交通指導員を派遣し、体験・参加型の自転車教室を実施した。

自転車教室は、延べ270回、17,941人を対象に実施。

(幼児1回 28人、小・中・高校生260回 17,624人、高齢者1回 16人、一般者8回 273人)

(イ) TSマークの普及

自転車安全整備制度の周知とともに、TSマークの普及促進を図るため、令和4年5月20日開催の高等学校交通安全教育推進連絡会議において、参加高校教員等に対してTSマークの説明をした。

※ 自転車の交通事故発生状況（R4年1月～R4年12月）

	件数	死者数	負傷者数	(内) 重傷者
令和4年	304	1	304	46
令和3年	319	4	311	48
増減	-15	-3	-7	-2

ウ 二輪車の交通事故防止

(ア) 二輪車安全運転講習会の開催

春・秋の行楽期におけるバイクツーリングによる交通事故及び日常の交通事故防止対策として、大分県警察との共催により、「大分県二輪車安全運転講習会」を開催した。いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底したうえで開催した。

○ 大分県運転免許センター <春期>：令和4年4月17日(日)実施、受講者16名(男15名、女1名)

○ 大分県運転免許センター <秋期>：令和4年9月11日(日)実施、受講者26名(男23名、女3名)

(イ) グッドライダーミーティング（二普協主催・安全協会後援）の開催（後援）

○ 大分県自動車学校 令和4年6月26日(日)実施、受講者8名(男7名、女1名)

- (ウ) 大分県二輪車安全運転指導員会が主催する二輪車安全運転講習会の開催（後援）
 - 大分県運転免許センター 令和4年6月12日(日) 実施、受講者15名（男14名、女1名）
 - 大分県運転免許センター 令和4年10月16日(日) 実施、受講者11名（男10名、女1名）
- (エ) 大分県二輪車安全運転指導員養成講習会・認定審査
 - 大分県自動車学校 令和4年10月23日(日) 実施、受講者7名（男6名、女1名）

※ 二輪車の交通事故発生状況（R4年1月～R4年12月）

	件数	死者数	負傷者数	(内) 重傷者
令和4年	233	2	200	55
令和3年	273	7	239	64
増減	-40	-5	-39	-9

エ 交通事故相談

交通安全活動推進センターとして、関係機関と緊密な連携を図りながら、示談や損害賠償等の交通事故に伴う相談・助言対応。

交通事故相談件数は2件。（昨年度0件）

以上のとおり、重点活動に対する各種施策を推進した結果、前年比で交通事故の発生件数、死者数、負傷者数、重傷者数はいずれも減少した。特に発生件数及び負傷者数は18年連続で減少し、死者数については統計資料が現存する昭和27年以降最少の32人に抑止することができた。

この結果を受け、本年1月19日、大分県警察本部長はその功労に対し深甚なる感謝の意を表され、公益財団法人大分県交通安全協会をはじめとする関係機関・団体に対して感謝状を贈呈され、また、交通部長から大分県女性ドライバー協議会等に対しても感謝状が贈呈された。

※ 県下の交通事故発生状況（R4年1月～R4年12月）

	件数	死者数	負傷者数	(内)重傷者数
令和4年	2,271	32	2,804	235
令和3年	2,360	36	2,832	254
増減	-89	-4	-28	-19

3 期間を定めての活動

次の期間、集中的・効果的に交通安全活動を推進

運 動 名 等	実 施 期 間	日 数
新入学（園）児童を交通事故から守る活動	4月中の1ヶ月間	30日間
春の全国交通安全運動	4月 6日(水)から4月15日(金)まで	10日間
自転車月間	5月 1日(日)から5月31日(火)まで	31日間
交通マナーアップキャンペーン	7月 1日(金)から7月31日(日)まで	31日間
おおいた夏の事故ゼロ運動	7月15日(金)から7月21日(木)まで	7日間
秋の全国交通安全運動	9月21日(水)から9月30日(金)まで	10日間
飲酒運転根絶キャンペーン（イベント）	12月1日（木）から12月20日（火）まで （12月9日（金）大分市竹町ドーム広場）	20日間
おおいた冬の事故ゼロ運動	12月6日（火）から12月12日（月）まで	7日間
マナーアップの日	毎月 1日	毎月1日
県民交通安全日、飲酒運転根絶県民運動の日	毎月20日	毎月1日

4 行政機関から委託等を受けた事業

(1) 更新時講習、停止処分者・違反者講習

各講習の目的に沿って、講習体制を整備し、適正かつ効果的な講習を実施した。

(2) 運転免許関係事務

更新通知・高齢者講習通知等をはじめ県民への利便性に配慮した適正かつ確実な業務を推進した。

(3) 運転免許証の郵送（契約）業務

県民の利便性に配慮し、適正かつ確実な業務を推進した。

(4) 道路使用許可調査業務

大分中央警察署管内及び大分東警察署管内における、工事等による道路使用の許可条件の履行及び原状回復の状況等を調査し、交通の安全と円滑に寄与した。

※ 調査員による調査状況

- 大分中央警察署管内 2, 952件、指導警告事案無し
- 大分東警察署管内 1, 394件、指導警告事案無し

(5) 自動車保管場所証明・届出等の電算入力業務

適正かつ確実な業務を推進した。

(6) 体験型交通安全教育業務（受託期間：令和4年5月1日から令和5年2月28日までの間）

ア 子供に対する交通安全教育（目標：14, 400分以上）

県内、中学校及び高校等に対し自転車シミュレータを活用した体験型交通安全教育を推進した。

39.3%実施〔実施時間 5, 655分 受講者 3, 055人（中学3校、高校5校、その他12）〕

イ 高齢者等に対する交通安全教育（目標：57, 600分以上）

運転免許センターにおいて、歩行シミュレータを活用した体験型交通安全教育を推進した。

151.7%実施〔実施時間 87, 390分 受講者 8, 515人（173日間）〕

ウ 一般運転者等に対する交通安全教育（目標：24, 000分以上）

県内、事業所において、ドライビングシミュレータを活用した体験型交通安全教育を推進した。

55.7%実施〔実施時間 13, 375分 受講者 602人（29事業所）〕

※ 令和4年9月～本年1月までドライビングシミュレータ故障につき運用ができなかった。

(7) 収入証紙の売り捌き（許認可）業務

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえ、県民の利便性に配慮した適正かつ確実な業務を推進した。

(8) 日本交通管理技術協会関係業務

ア 自転車安全整備店（非組合店）登録申請等に伴う現地調査・手続き等

整備店作業場としての基準の適合性調査及び各種登録（新規・更新・変更・再登録）手続きを実施した。

イ TSマークの交付業務

令和4年度交付件数（赤色）5,800件、（青色）4,100件

ウ TSマーク付帯保険の適用に伴う調査

TSマーク貼付自転車の交通事故に係る自転車店への確認調査（令和4年度：5件）

5 大分県自動車学校における事業

(1) 優良運転者の育成

車社会に多くの運転者を送り出している指定自動車教習所の社会的責任・役割を果たすため、安全運転の知識・技能について高い教習を実施し、優良運転者を育成するとともに、初心運転者の事故率の低減を図った。

○ 令和4年度における教習生入校状況 (人)

	四 輪	二 輪	合 計
令和4年度	985	230	1,215
令和3年度	1,112	226	1,338
増 減	-127	+4	-123

(2) 地域交通安全研修センターとしての積極的な活動

ア 高齢者講習

高齢運転者が増加する中、公益法人設立の指定自動車教習所として、講習体制を整備し、適正かつ効果的な講習を実施した。

○ 令和4年度における高齢者法定講習（R4.5.13法改正） (人)

	R4.4.1～ 5.12		R4.5.13～ R5.3.31		総 計
	合理化	高度化	実車あり	実車なし（運転技能検査）	
令和4年度	285	56	3,770	199（101）	4,310（101）

※ 合理化～高齢者講習2時間対象者

※ 高度化～高齢者講習3時間対象者

- ・ 運転シミュレータ、講習用ビデオ映画、新聞記事さらには身近な事故事例等、常に新しい教材により充実した講習を実施した。
- ・ 実車講習による的確な是正指導と講習時の事故防止を図った。

イ 取消処分者講習、初心運転者講習

公安委員会からの指定を受けた講習について、適正かつ効果的な講習を実施した。

○ 令和4年度における取消処分者講習

	一 般	飲 酒	合 計
令和4年度	4	18	22
令和3年度	10	19	29
増 減	-6	-1	-7

○ 令和4年度における初心運転者講習

	普 通	準中型	自動二輪	原 付	合 計
令和4年度	13	0	2	1	16
令和3年度	15	0	6	3	24
増 減	-2	0	-4	-2	-8

ウ 企業安全運転講習、ペーパードライバー教習等

職業ドライバーに対する企業安全運転講習からペーパードライバーまで幅広く、目的に沿った効果的な講習実施。

○ 令和4年度における免許取得者教育講習

	1号課程	2号課程	4号課程	5号課程	7号課程	8号課程	合計
令和4年度	67	0	0	0	0	518	585
令和3年度	34	0	0	0	0	724	758
増減	+33	0	0	0	0	-206	-173

・ 1号課程～ペーパードライバー講習 ・ 2号課程～二輪車安全運転体験講習 ・ 4号課程～高齢者安全運転体験講習

・ 5号課程～高速・悪条件下等安全運転体験講習 ・ 7号課程～二人乗り走行体験講習 ・ 8号課程～企業・職域等安全運転講習

エ 障害者に対する教習

障害者に対する講習体制を整備し、適正かつ効果的な講習を実施。

6 会議

(1) 全国会議

本年3月16日(木)に都道府県交通安全協会専務理事等会議が東京都で開催され、専務理事が出席した。

(2) 当協会が主催する会議

ア 理事会

○ 令和4年6月9日(木)に第35回理事会をトキハ会館5階「ローズの間」において開催し、会長以下16名が出席した。

○ 令和4年12月6日(火)に第36回理事会をトキハ会館5階「ローズの間」において開催し、会長以下15名が出席した。

○ 本年3月14日(火)に第37回理事会をトキハ会館5階「カトレアの間」において開催し、会長以下14名が出席した。

イ 評議員会

令和4年6月27日(月)に第19回評議員会をトキハ会館5階「ローズの間」において開催し、会長以下14名が出席した。

ウ 理事・評議員合同会議

理事・評議員合同会議については開催を中止した。

エ 大分県女性ドライバー協議会通常総会

令和4年9月22日(木) J:COM ホルトホールにおいて通常総会を開催し、会員14名が参加。役員改選等について審議した。

(新会長に女性ドライバー協議会玖珠支部会長、新副会長2名に別府支部会長、大分中央支部会長が決定)

オ 支部事務局長会議

令和4年10月27日(木)に支部事務局長会議を大分運転免許センターにおいて開催し、専務理事以下19名が出席し支部組織運営規程の改正等について審議した。

(3) 九州会議

ア 九州交通安全協会定例総会

令和4年4月21日(木)に福岡県で開催され、専務理事が出席した。

イ 九州各県交通安全協会専務理事・事務局長会議

令和4年10月13日(木)に宮崎県で開催され、専務理事が出席した。

(4) 県会議等

ア 大分県交通安全推進協議会委員会

令和4年5月中に開催予定であった委員会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催となった。(議案同意)

イ その他

- 大分県指定自動車教習所協会定期株主総会・定時総会 (R4. 5. 11～専務理事出席)
- 交通安全教育推進連絡会議「中央会議」 (第1回・R4. 5. 20、第2回・R5. 2. 6～企画指導室長出席)
- 安全運転管理者社員総会 (R4. 5. 26、R5. 2. 22～専務理事出席)

- 大分県高速道路交通安全協議会会議（R4. 6 月に開催予定であったが、新型コロナウイルス等感染拡大防止のため中止。書面決議）
- 大分市自転車走行空間ネットワーク整備推進協議会（R4. 7. 27～専務理事出席）
- 大分県道路交通環境安全推進連絡会議アドバイザー会議（R4. 8. 19～専務理事出席）
- 大分県指定自動車教習所協会・管理者会議（R4. 11. 28～専務理事・学校長出席）

7 研修

(1) 当協会が主催する研修

職員や関係者に必要な知識や技能を習得させる機会を設けることにより、職員等個々の資質の向上を図るための各種研修会を実施した。

ア 交通指導員研修会

新人職員研修会

令和4年4月5日（火）大分県運転免許センター（K5）において開催し、新人職員（令和3年4月1日以降に採用）12名が参加。接遇マナー研修の他、協会業務全般、免許業務、運転免許センターの見学等を実施した。

イ 大分県女性ドライバー協議会研修会

秋の全国交通安全運動期間中の令和4年9月22日（木）、J:COM ホルトホール大分において研修会を開催し、警察本部交通企画課担当者の講演及び各支部の活動状況を発表した。

ウ 大分県二輪車安全運転指導員研修会

本年2月12日（日）運転免許センターにおいて、二輪車安全運転指導員の資格を有する17名に対して、特別指導員9名と白バイ隊員2名による安全運転知識及び運転技能を指導した。

(2) 研修会への派遣

職員や関係者に必要な知識や技能を習得させることにより資質の向上を図るため、専門機関や関係機関が開催する研修会に派遣した。

ア 道路使用適正化業務担当責任者研修会（R4. 5. 13～調査員出席）

イ 地域交通安全活動推進委員全国研修会（R4. 6. 24～中津地区地域交通安全活動推進委員協議会会長・企画指導室長出席）

ウ 交通事故相談担当者研修会（R4. 6. 30～企画指導室長出席）

エ 幼児・高齢者交通安全教育指導者講習会（R4. 10. 30～11. 2～宇佐支部事務局長出席）

オ 安全運転センター中央研修所における研修

業務に必要な資格取得あるいは資質向上のため、県自動車学校職員を自動車安全運転センターが主催する研修会に派遣した。

○ 令和4年度における中央研修所受講状況

	回数	受講人員	備考
教習指導員（普通）課程	0	0	0日間
高齢者講習指導員課程（四輪車・二輪車）	3	3	3日間

カ その他

○ 令和4年度における県自動車学校指導員・検定員の講習受講状況

	回数	受講人員
副管理者講習	1	4
技能検定員講習	3	22
教習指導員講習	2	3
合計	6	29